

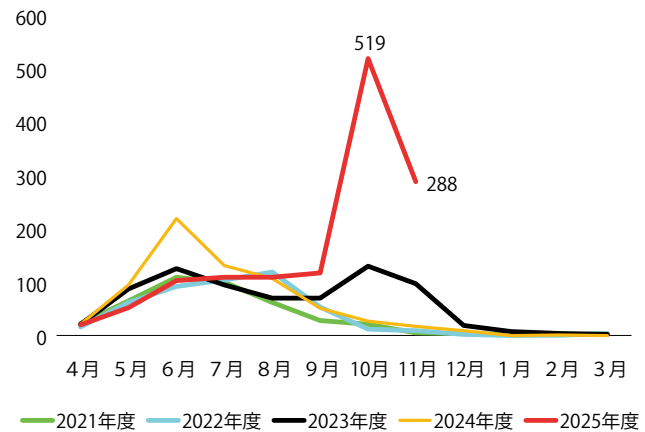
## 群馬県内におけるクマ出沒による被害

- 2025年度はクマの出沒件数が大きく増えている。群馬では11月末時点で4月からのクマの出沒件数は1,317件と、前年同期の668件に対して倍近く増え、全国では8番目に多かった(図表1)。特に10月は519件と突出しており、過去5年間でみても単月で最大の件数を記録した(図表2)。
- これに伴い、人身被害が増えている。群馬県によれば、2025年度のクマによる被害者数は、11月末時点で、累計12人(前年比+8人)となった。なかでも10月は7人が被害にあっており、冬眠に備えたクマが活発に行動していることがうかがえる。
- 農作物と森林資源に対する経済的な被害も大きく、2024年度のクマによる被害金額はシカに次ぐ8,987万円であった(図表3)。2025年度はそれを上回る可能性がある。

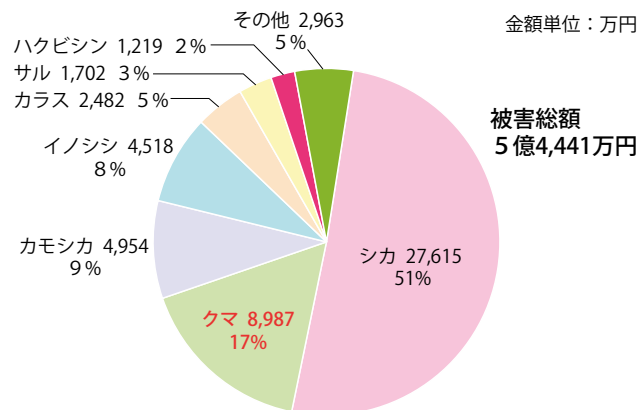
図表1 クマの出沒件数(北海道を除く)

順位	都道府県名	2025年4～11月累計	前年同期実績
1	秋田県	13,172	1,062
2	岩手県	9,270	2,757
3	新潟県	3,265	873
4	宮城県	3,056	728
5	青森県	2,841	690
6	山形県	2,711	310
7	福島県	1,895	586
8	群馬県	1,317	668
9	長野県	1,262	1,414
10	京都府	1,129	1,824
⋮			
	全国計	47,038	19,350

図表2 群馬のクマ出沒件数



図表3 群馬県の農作物と森林資源の被害金額(2024年度)



注) 図表1は、人間の生活エリアでの目撃・出沒情報で各都道府県による環境省への申告ベース。ちなみに北海道は出沒件数を公表しておらず不明。

資料: 図表1は環境省「クマ類の出沒情報について」(2026年1月6日更新)、図表2は群馬県「ツキノワグマ情報について」(2025年12月17日)、図表3は群馬県「野生鳥獣による農作物被害の状況」(2024年度)と「野生鳥獣による森林被害の状況」(2024年度)より作成

「群馬県クマ出沒マップ」のリンク



## 【一〇メモ】

群馬県鳥獣被害対策センターの推計によれば、県内山地には約2,000頭のツキノワグマが生息しているとされている。県は、日常生活や外出の際の事前情報として役立てられるよう、「群馬県クマ出沒マップ」を公表している。

(担当: 河村英輝)